

令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 門司中央 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和7年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
本市	16.16	19.89	34.46	41.16	50.80	9.47	152.45	22.02	54.09

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97
本市	15.73	18.70	38.63	39.23	39.35	9.75	144.11	13.51	54.98

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析
<p>○体育科の学習においては、めあてを意識し、目的をもって取り組もうとする傾向にある。今後も、児童が目的を明確にし、主体的に学習に取り組めるようICTを活用しながら、様々な手だてを講じていきたい。</p> <p>○「運動が好き」「運動やスポーツをすることに興味がある」「中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動したい」の肯定的回答が、全国平均を上回っていた。「生涯体育」の視点からも、今後、体育科の学習が児童の日常の運動習慣に繋がるように興味・関心をさらに高める取組を進めていきたい。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

学習の中で、約30分間は運動する時間を確保するようにしている。『すきっちゃプログラム』を活用し、個に応じた学習意欲の喚起や学習展開の工夫など、授業改善に取り組む。また、ICT機器を活用して児童の動きを可視化し、自分や友達の動きを振り返りながら課題を見つけることができる学習環境を整える。児童が自らの課題を発見し、解決のための運動のコツを見いだせるように支援することで、技量の向上につなげていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

「生涯体育」の視点から、継続的に運動に親しめる環境づくりを目指したい。運動に関する児童の関心・意欲をさらに高めるため、一輪車・縄跳びに加えてサッカーボールの貸し出しや場づくりを行い、休み時間に自然と体育の学びへつながる環境を整えていきたい。また、委員会活動においては、持久走記録会に向けた練習企画などを取り入れ、児童同士が運動する楽しさや達成感を味わえる機会を充実させていく。